笠間の自然は、こんなにも美しい。

笠間市は、茨城のほぼ中央に位置しており、北は城里町、南は茨城町、小美玉市、石岡市、東には水戸市、西に桜川市、栃木県茂木町に隣接しています。

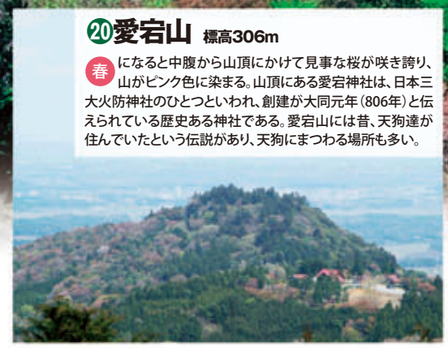
地形は、西北と南西は阿武隈山系の山で、この山系の丘陵に取り囲まれた笠間盆地と東南部は、涸沼川と巴川流域の平坦地からなっています。

笠間の山は、西北に国見山・仏頂山、西に鍬柄山・棟峰、南西に吾国山・難台山・愛宕山、南に鐘転山、そして北東には朝房山があります。

地区別にみると、笠間地区の城里町と石岡市に接している箇所を中心に15山、岩間地区の石岡市側に4山、友部地区は下加賀田地域に3山の併せて22の山があり、一番高い山は、難台山553mで、その他のほとんどが100～300m台の低い山です。

⑥佐白山 標高209m

夏の新緑、秋の紅葉、数百種の植物が繁茂する佐白山はまさに自然の宝庫。佐白山の山麓に見られるのは鎌倉時代の笠間城の山城跡。今も巨石で築かれた石垣が残っている。山頂には佐志能神社が祭られており、山頂の石倉からの眺めは雄大だ。



⑳愛宕山 標高306m

春になると中腹から山頂にかけて見事な桜が咲き誇り、山がピンク色に染まる。山頂にある愛宕神社は、日本三大火防神社のひとつといわれ、創建が大同元年（806年）と伝えられている歴史ある神社である。愛宕山には昔、天狗達が住んでいたという伝説があり、天狗にまつわる場所も多い。

⑮吾国山 標高518m

吾国山は、笠間市と石岡市との境に位置し、山頂には三角点がある。大谷石の蔵のような中に吾（我）国神社（田上神社）の祠があり、北側の展望が開ける。吾国山頂から西の田上側へ下る途中にブナ林があり、その下草としてカタクリが群生している。※市の文化財に指定されている。

笠間の山ここに注目！▶▶▶

注目1 笠間にはなんと富士山が3つも！

笠間には富士山が3つもある。その一つ福原駅近くにある富士山（⑦）。山頂には、「富士山認定協会」山名表示板と三角点のみで祠はなく展望もない。二つめは、笠間つつじ公園の富士山（⑧）で、5月には赤・紫・白などのつつじが開花し、観光客の目を楽しませてくれる。そして三つめは、宍戸ヒルズカントリークラブに隣接する富士山（⑱）で、三つの富士山の中で一番低い山である。山頂には三角点、2基の祠があるが展望はいまひとつ。

注目2 朝房山は朝ねぼう山??

笠間市と水戸市との境に位置する山で、神の住まう山「神奈備」として、古来より信仰の対象になっている。笠間の民話「朝房山とダイダラ坊」で、山が村の南側にあり、朝がくるのが遅く困った村人がダイダラ坊に頼んで移動してもらった山として伝えられる。民話「朝房山と蛇」などもある。常陸風土記にも出てくる山で、水戸市側の木葉下地区の住民が熱心に保護・整備を行っている。

注目3 自然の宝庫！仏頂山。

自然林の遊歩道が整備された「関東ふれあいの道」の山仏頂山は笠間市と栃木県茂木町との県境に位置し、カシ、シイ、サカキなどの暖帯性植物の分布北限に近い地域として植物学的にも興味深い山である。登山口である楞厳寺（りょうごんじ）山門は国の重要文化財になっており、裏山は国の天然記念物ヒメハルゼミの発生地となっている。

笠間deハイキング

北山ハイキングルートは、全長約8kmのコース。

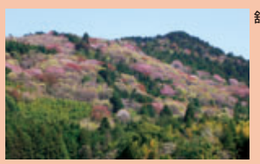
友部駅～南友部の田園地帯～ビオトープ天神の里～天神池～北山公園（高さ23mの展望塔から笠間市内360度の大パノラマを楽しむ）～ゲンジボタルの里～白鳥湖周辺～宍戸のお寺～宍戸駅

友部地区では、合併前から歩け歩け大会などの健康推進事業に北山公園までハイキングコースを利用してきた。このコースの魅力は水辺を歩くことと、笠間市内360度の大パノラマが楽しめることである。

少し足をのばせば佐白山・笠間芸術の森公園までコースに入れることもできる。

北山ハイキングコース

愛宕・難台・舘岸ハイキングコース



舘岸山をめぐるルートは、岩間の地区の市民によって造られたコースで、登山ルートのスタート地点にはお寺があり、ソメイヨシノの並木が連なる。舘岸山は、貴重な生物の宝庫。また、舘岸山には、夫婦岩・波岩、難台山には、団子石・ししゃ鼻・屏風岩などの銘石が観察できる。田園風景の四季を見ながら難台山にも歩を進めての岩石ウォークも楽しみである。

笠間十名山を登ろう！

笠間がお薦めする登り応えありの十名山！
ぜひチャレンジしてみてください！

- ▲仏頂山431m
- ▲国見山392m
- ▲佐白山209m
- ▲富士山（笠間つつじ公園）144m
- ▲朝房山201m
- ▲難台山553m
- ▲吾国山518m
- ▲愛宕山306m
- ▲舘岸山256m
- ▲鐘転山218m